

# 実験動物の年間総販売数調査

(平成28年4月～29年3月)

平成29年9月

公益社団法人日本実験動物協会

## はじめに

本調査は、実験動物販売数量の経時的把握を目的に、昭和60年度から3年度毎に行い、今回で11回目になります。

調査方法は前回と同様で、①当協会(日動協)と日本実験動物協同組合(実動協)の会員及び会員以外で実験動物を販売していると思われる者並びに大学、公的法人で実験動物を生産、販売(供給)していると思われる計45者を対象に、②平成28年4月から29年3月までの1年間に、③実験動物のユーザーに対し、直接、生産販売(供給)、仕入れ販売、輸入販売した実験動物数を、アンケー

ト調査方式で把握しました。調査票は郵送し、販売(供給)実績のない場合も、その旨回答をお願いしました。

## 調査対象

調査対象は、日動協会員21者(うち、18者は実動協組合員)、実動協組合員27者(うち、18者は日動協会員)、大学の動物実験施設5者、その他の公的法人3者及び日動協、実動協に属さない7者の計45者です。うち42者から有効回答があり、このうち36者について実験動物の販売(供給)実績がありました。

## アンケートの回答状況

区分	調査票送付者(A)	回答者(B)	Bのうち販売(供給)実績のある者	回答率(B/A)%
日動協、実動協	30	30	28	100
大学、公的法人等	8	7	4	88
その他	7	5	4	71
計	45	42	36	93

## アンケート調査対象数の推移

	S60	S63	H3	H7	H10	H13	H16	H19	H22	H25	H28
調査依頼	81	87	66	65	57	52	66	52	44	44	45
有効回答	64	68	52	57	54	49	64	52	44	43	42
実績あり	60	56	45	49	44	43	40	44	44	39	36

調査結果掲載の「LABIO 21」のNo.	10	23	35	46	58	70
-----------------------	----	----	----	----	----	----

\* 「LABIO 21」は日動協の情報誌で定期購読ができます。

\* 日動協のHPでも公表しています。

## 調査結果概要

調査依頼者は、S60年度(第1回)調査の81者から今回H28年度の45者へと、この30年で半減し、実験動物の販売(供給)実績のある者も60者から36者へと4割の減少です。

動物種毎に見ると、販売(供給)数はサル類、ブタ以外の全ての動物種で長期的に減少しています。マウスは最多であったS63年度(939万匹)の1/3(320万匹)にまで、ラットは最多であったH3年度(380万匹)の1/4(90万匹)にまで、モルモットは最多であったH10年度(535千匹)の13%(69千匹)にまで、ハムスター類は最多であったH10年度(83千匹)の10%(8千匹)にまで、ウサギは最多であったS60年度(334千匹)の14%(45千匹)にまで、イヌは最多であったH3年度(39千頭)の12%(5千頭)にま

で、また、ネコは最多であったS60年度(114百匹)の5%(6百匹)にまで、各々減少しています。そして、減少傾向は今回の調査でも引き継いでいます。

一方、サル類はS60年度から減少傾向にあったものの、H10年度を底に増加に転じ、最近は3千頭前後で推移し、今回は3,261頭でした。なお、展示用も含めた輸入頭数は概ね5千頭台で推移しており、今回(H28年1～12月)は5,834頭で、前回H25年度と同様、本調査頭数と2千頭程度の乖離がありました。これは、ユーザーの直接輸入及び本調査先以外からの購入が多数あることに起因すると思われます。

ブタはS60年度から増加しH10年度を頭に減少に転じ、そしてH19年度を底に増加に転じました。今回の調査では最多の3,199頭でした。

実験動物販売数(H28年度)

匹数、頭数

動物種	コンベンショナル	クリーン	SPF	合計(増減、%)		参考		
						H25年度計	最大値	年度
マウス								
クローズドコロニー	0	11,390	1,125,235	1,136,625	(▼ 29.4)	1,610,854		
近交系	0	20	1,659,454	1,659,474	(▼ 8.2)	1,807,820		
交雑群	0	0	94,479	94,479	(▼ 23.7)	123,875		
ミュータント系	0	0	289,717	289,717	(▼ 27.7)	400,626		
コンジュニック系	0	0	1,538	1,538	(△ 6.9)	1,439		
遺伝子改変	0	94	18,875	18,969	(△ 8.9)	17,414		
マウス計	0	11,504 (▼ 79.3)	3,189,298 (▼ 18.4)	3,200,802	(▼ 19.1)	3,962,028	9,389,912	S63
ラット								
クローズドコロニー	4	4,492	800,086	804,582	(▼ 26.2)	1,090,222		
近交系	0	0	67,340	67,340	(▼ 29.9)	96,105		
交雑群	0	0	0	0	(—)	0		
ミュータント系	500	0	26,972	27,472	(▼ 19.9)	34,318		
ラット計	504 (▼ 66.4)	4,492 (▼ 67.0)	894,398 (▼ 25.8)	899,394	(▼ 26.3)	1,220,645	3,801,348	H3
モルモット	18 (▼ 99.4)	6,897 (▼ 22.2)	62,231 (▼ 30.1)	69,146	(▼ 31.6)	101,042	534,833	H10
ハムスター類	0 (—)	0 (—)	8,465 (▼ 35.1)	8,465	(▼ 35.1)	13,039	82,510	H10
その他のげっ歯類	0	0	1,266	1,266	(▼ 39.2)	2,081		
ウサギ	1,496 (▼ 79.7)	25,812 (▼ 18.3)	18,033 (▼ 13.5)	45,341	(▼ 24.2)	59,803	333,824	S60
イヌ	4,754	0	0	4,754	(▼ 26.2)	6,440	38,915	H3
ネコ	32	254	270	556	(△ 0.4)	554	11,415	S60
サル類	3,131	130	0	3,261	(△ 9.9)	2,966	3,462	H19
ブタ	862	267	2,070	3,199	(△ 14.0)	2,806	3,199	H28
ヤギ	6	0	0	6	(▼ 83.3)	36		
綿羊	2	0	0	2	(▼ 88.9)	18		
鳥類	1,370	0	3,476	4,846	(▼ 49.5)	9,601		
その他の動物種	哺乳類	107	500	0	607	(△ 126.5)	268	
	哺乳類以外	4,646	0	0	4,646	(▼ 19.6)	5,776	

- (注) 1. 増減は前回(H25年度)との比較。△：増 ▼：減  
 2. その他のげっ歯類はスナネズミ。  
 3. その他の動物種の哺乳類はスンクスとフェレット。  
 4. 右欄の「最大値 年度」とは、これまでの調査で最大数となった年度とその匹数、頭数を記載。